

### 6月の予定

- 2日 ビデオ&詩篇朗読&書き取り  
6月生まれの人に祝福のお祈り
- 9日 きっず・らんど
- 16日 父の日 プレゼント作り
- 23日 ビデオ&詩篇朗読&書き取り
- 30日 お話&詩篇朗読&書き取り

### チャレンジ! 暗誦聖句

わたしがあなたの傷を直し、  
あなたの打ち傷をいやすからだ。  
—主の御告げ—

エレミヤ書 30章17節

# る ば の こ



## 教科書にでるクリスチャン偉人伝 『ナイチンゲール』

フローレンス・ナイチンゲールは1820年5月12日、南イギリスの裕福な家庭の娘として生まれました。広大な土地と莫大な財産を持つ父ウィリアムは、穏やかでとても勉強好きでした。フローレンスと姉のパーシーは、父から、ギリシア語・ラテン語・フランス語・ドイツ語・歴史・数学など多くの科目を学びましたが、フローレンスはとりわけ数学が大好きだったそうです。当時の上流階級の女性に求められていることは、結婚して家庭を守ることでした。熱心に勉強することも働くことも卑しいこととされていました。彼女は家族に内緒でこっそりと数学を学んでいたそうです。

1837年、16歳の時のことでした。一人日記をつけていた時、「神に仕えよ」という声が聞こえたのです。あなたにしかできない、たいせつなことをしなさい、という声に、「わたしは何をすべきですか?」と問いかけましたが、答えはありませんでした。しかしその時から、フローレンスの心には常に自分のなすべきことを模索する思いが絶えなかったのです。華やかな舞踏会や音楽界に招かれ社交に明け暮れる毎日を、フローレンスは無意味に感じていました。貧しい人や病気の人を訪ね、彼らの世話をする慈善活動にうちこみながら、彼女は答えを待ち続けました。

1845年24歳の時、看護婦として病気の人の役に立つことが自分のなすべきことだと決意し、看護の訓練を受けようとしませんが、家族の大反対にあいます。当時の病院は貧しい人が収容される不潔な場所で、看護婦は医療の知識はなく、病人の世話も満足にせず、昼間から酒びたり、というありさまでした。フローレンスは、知人に頼んで資料や本を送ってもらい、独り学びを始めました。理解してくれる友人との出会いもあり、少しずつ目標に向かって準備を始めたのです。そして、1851年ドイツのキリスト教の教えに基づくカイザルスベルトの病院で、ようやく3ヶ月間訓練を受けることができたのです。

1853年ロンドンの慈善病院の改善に成功した彼女は、1854年クリミア戦争のイギリス軍基地へ看護婦団団長として派遣されます。長い学びの中で得た知識を活用し、軍医の妨害や無理解に屈せず、スクタリの病院を改革していきました。当初病院に運び込まれた兵士の死亡率は40%でした。フローレンスたちの活躍で、なんと2%までにおさえることができたのです。日中忙しく働き、夜はランプを持って、傷ついた兵士たちを見舞う彼女を『クリミアの天使』と人々は呼びました。けれど彼女は「苦悩する者のために戦うものこそが天使」だと言いました。戦後、病身をおして看護師の育成に心血を注いだ彼女によって、今の看護の基礎は築かれたのです。

加古川福音キリスト教会日曜学校部 発行  
牧師 楠橋 清隆・喜代子  
TEL 079-425-1406

## 編集後記

田植えの時期になりました。直播というのがあることはじめて知りました。

過酸化カルシウムをコーティングした種モミがあります。田の泥中に直に播きます。過酸化カルシウムが加水分解され酸素が生成されることで、泥中にあっても、発芽に必要な酸素が得られるということです。また泥中に植えることで、鳥などに食べられることを防ぐことができます。

また鉄コーティングの種モミもあるそうです。鉄の重みがあるので、特に泥中に播かなくても田の表面に播いても自然に土面に落ちつくそうです。

なんだか聖書の種まきの例えを思い出しました。  
(マタイ13章18から23節)  
コーティングをすることで、種モミは、より確実に稲に育ち、収穫量を増やすことができます。  
私たちは、御言葉を学んで、自分にしっかりとコーティングすることで、多くの実を結ぶクリスチャンになれるのではないのでしょうか。